

東日本大地震発生!

国労新橋

国労新橋支部

JR057 6720

FAX 6721

2011. 03. 15

NO. 692

発行者 谷崎正信

編著者 伊藤隆文

三月十一日(金)十四時四十六分頃、東北地方太平洋沖を震源とする大地震が発生しました。マグニチュードは観測史上最大の九を記録し、地震発生と共に巨大津波が

様には、つつしんで哀悼の意を表し心からお見舞い申し上げます。新橋支部としても組合員・家族の安否を行っています。一部には、家屋の倒壊、浸水の被害が報告されています。



地震直後のお台場の火事(支部の窓より)

東日本の太平洋沿岸を襲い、建物の崩壊や火災などで甚大な被害が発生しました。この地震災害に遭われた皆様に、心からお見舞い申し上げます。福島県にある原子力発電所の爆発事故を受けて、避難している組合員もいます。国労本部は、「東日本大地震災害対策本部」を設置し対策にあたっています。支部も「対策本部」を設置し今月は土・日も常駐しています。何か問題がありましたら支部まで連絡ください。

地震直後の新橋支部事務所



統一行動も中止に

地震発生時には、支部の第六回支部執行委員会が開催されていましたが、これまで感じたことのない揺れに全員が外に非難しました。同時に統一行動で使用する「横断幕」を作成中だった、品川地区協の仲間もすぐに外に非難しました。

首都圏の鉄道はすべて終日運転を取りやめ、帰宅できず支部で一夜を過ごさざるをえませんでした。今回の地震の影響で、14日からの貨物総行動・15日の地区独自行動・16日の支部総行動は、それぞれ中止にしました。

音威子府闘争団からお見舞いをいただきました。

東日本大地震災害に遭われた組合員・家族の皆さんに心からお見舞い申し上げます。

3月11日に発生しました未曾有の大災害に遭われた皆様のご苦労は、想像を絶するものといか言ひようがありません。

私ども音威子府闘争団、家族は、微力ではありますが、皆様の一助になりたいと思っております。

どんなことでも、もし皆様のお力添えになれることがありましたら、ぜひお申し出をいただきたく思います。

この間、JR不採用問題を一心同体で闘ってきていただいた皆さんと共に、改めて連帯と団結で、この困難な状況を乗り越えるために力を尽くしたい思いを添えて、取り急ぎお見舞いにさせていただきます。

2011年3月15日
国労音威子府闘争団
団長 金児順一
団員、家族一同

「2011年東北地方太平洋沖地震」 の義援金カンパのお願い

「2011年東北地方太平洋沖地震」に対する声明

3月11日、午後に発生した「東北地方太平洋沖地震」は、最大震度7、マグニチュード9.0という日本の観測史上最大・最悪のものとなりました。

地震直後に発生した巨大津波によって沿岸部の町々が壊滅状態となり、多くの尊い人命が失われました。また、地震による建物倒壊、火災や爆発事故で多くの方が負傷されているとの情報も次々と明らかになっております。

いまだにライフラインが寸断され、寒さと飢えの中で救助を待つ被災者が多数おられますが、この度の震災で、犠牲になられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被害に遭われた皆さま方に心よりお見舞いを申し上げます。

また、JRをはじめとする公共輸送機関の各施設にも多大な被害状況が次々と明らかとなっておりますが、復旧に向けて懸命に作業にあたられている関係者と組合員に敬意を表します。

国鉄労働組合は、この度震災で被災された組合員・家族の支援と救済に全力を挙げるために東日本本部とともに「東日本地震災害対策本部」を設置いたしました。

組合員・家族の安否確認と被害状況の把握に全力をあげるとともに、必要な支援について今後対策をすすめてまいります。

何より、国民の足を守る立場から、会社と協議し鉄道の復旧・復興に全力をあげることも明らかにするものです。

日本各地の有宜組合の他、ITFからもお見舞いのメッセージが届けられています。

国鉄労働組合は、被災された仲間への激励・支援に全力をあげる決意をあらためて明らかにするとともに、全国の仲間からの支援・連帯を要請するものです。

皆さん、ともに頑張りましょう。

2011年3月14日

国鉄労働組合

同東日本大地震対策本部

「2011年東北地方太平洋沖地震」に対し支援する取組みの一環として、被害を受けた組合員・地域住民に対する激励のためのカンパ活動を行います。
緊急の取組みですが、多くの組合員のご協力をお願いします。
なお、左記の声明が国労本部から出されました。